

令和6年度 奈良県防災士会総会

令和6年の総会は5月26日(日)になら100年会館にて開催された。出席の正会員は44名、委任状の提出66名で総会成立を確認した。議長には橿原市の奥田英人(副理事長)が務め、予定されていた議案すべてを審議し、原案通りで採決した。今後の活動方針において2点の質問を受けたが、それぞれ答弁を行い理解を得た。今回も多数の来賓をお招きし、奈良県防災統括室長、奈良地方気象台長、NHK奈良放送局長よりご挨拶いただいた。

引き続き、研修会を開催した。参加者は97名。その後、場所を変え4年ぶりとなる懇親会を開催した。参加者は44名。会員相互の交流を図ることができた。



理事長あいさつ

皆様のご協力の下、5月に奈良県防災士会定例総会が開催され、理事会で理事長の任を仰せつかりました末田政一です。コロナ禍の規制の中で就任し、大したことは出来ていませんが、初心に戻ってコミュニケーションを第一に考えて取り組んでいく所存です。

本年1月に発生した能登半島地震では未だに大変な状況が続いています。各地での大雨被害も毎年のように起こり、奈良県でも防災意識が高まっています。それにより、もし奈良県で災害が発生した場合、地域で対応出来るのかという課題が浮かび上がって来ました。私たち防災士はまず自分の身を守り、家族や大切な人を守り、そして地域や職場の安全確保に努めることが重要だと考えています。

そのためには日頃のコミュニケーションと情報の伝達、奈良県防災士会としてのサポート体制の充実が求められていると感じています。新型コロナ規制緩和から沢山の講師派遣ご依頼を頂いている中で、日々対応に追われている現状ですが、もっと地域の防災士が活躍出来るように、アドバイスと支援を続けて参ります。

おかげさまで奈良県防災士会は協力体制や役割分担が出来ていますので、今後はスタッフの裾野を広げて若返りを図りたいと思っています。皆様の得意分野でご協力をよろしくお願い致します。

活動報告

■2024年(令和6年)1月～8月初旬の活動 ※参加人数は、主催者発表による。

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
1/13(土)	広報誌発送作業	王寺町	奈良県防災士会	21人
1/13(土)	災害ボランティア研修会 2回目	王寺町	奈良県防災士会	29人
1/13(土)	懇親会	王寺町	奈良県防災士会	20人
1/14(日)	「令和6年能登半島震災の対応取り組みについて」	Zoom	日本防災士会 関西支部連絡協議会	10人
1/17(水)	R5年度大和川流域水害対策WG(幹事会)Zoom 担当者会議	Zoom	国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所	63人
1/19(金)	都祁中学校全校生徒対象防災学習	奈良市	奈良市立都祁中学校	99人
1/21(日)	奈良市防災リーダー研修(A日程) 「災害に備える」「自主防災が行う各種訓練」	奈良市	奈良市自主防災防犯協議会	70人
1/24(水)	令和5年度 「奈良県内災害支援の三者連携を考える研修会」	奈良市	奈良県社会福祉協議会	74人
1/25(木)	斑鳩町自主防災連絡会 役員会	斑鳩町	斑鳩町自主防災連絡会	来賓出席
1/26(金)	男女共同参画推進セミナー 「避難所運営ゲーム HUG」	奈良市	奈良県女性センター	23人
1/27(土)	奈良市防災リーダー研修(A日程) 「災害ボランティアと災害時の受援力」	奈良市	奈良市自主防災防犯協議会	70人
1/30(火)	忍海小学校5年生 自分たちで作ったお米を使っておにぎりを作ろうと防災クイズ	葛城市	葛城市立忍海小学校	51人
1/31(水)	R5年度大和川流域水害対策協議会	奈良市	国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所	41人
2/ 1(木)	木津川上流部減災対策協議会 (合同幹事会)	Zoom	近畿地方整備局 木津川上流河川事務所	1人
2/ 3(土)	地防災力向上支援ワークショップ 及び自主防災訓練事業「三宅町総合防災訓練」	三宅町	三宅町	100人
2/ 5(月)	奈良市防災リーダー研修(B日程) 「災害に備える」「自主防災が行う各種訓練」	奈良市	奈良市自主防災防犯協議会	90人
2/18(日)	防災訓練「災害に備えて」講演	奈良市	奈良市鼓阪地区防災防犯会	70人
2/18(日)	斑鳩町自主防災連絡会 臨時総会	斑鳩町	斑鳩町安全安心課	40人
2/19(月)	奈良市防災リーダー研修(B日程) 「災害ボランティアと災害時の受援力」	奈良市	奈良市自主防災防犯協議会	90人
2/24(土)	三郷町防災連続講座 第1回 「三郷町内の防災活動を知る」	三郷町	三郷町社会福祉協議会	24人
2/24(土)	支部長会議	Zoom	日本防災士会(本部)	37人
2/25(日)	令和5年度本人の会サンメイト研究大会 「自分で自分を守ろう！地震が起きたら」	橿原市	奈良県手をつなぐ育成会	31人
2/25(日)	防災講演「地震！その時あなたはどのようにする」香芝市	香芝市	香芝市畑自治会	38人
2/25(日)	簡易郵便局青年部防災研修会 「自然災害に対する備えと対応」	橿原市	奈良県簡易郵便局連合会	41人

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
2/28(水)	奈良県防災プラットフォーム 「マニュアル更新にむけて」	Zoom	奈良県防災プラットフォーム 連絡会	10人
3/2(土)	支部長会議	Web	日本防災士会	—
3/9(土)	三郷町防災連続講座 第2回 「地震時タイムライン研修」	三郷町	三郷町社会福祉協議会	19人
3/9(土)	能登半島地震第3次(第4陣)説明会	三郷町	奈良県防災士会	12人
3/9(土)	能登半島地震の話と地震防災タイムライン	奈良市	朱雀1・2丁目万青クラブ サロン	25人
3/10(日)	防災講演会 「介護施設スタッフの地震編タイムライン」	三郷町	NPO 法人三郷サンサンハウス	22人
3/12(火)	マイ・タイムラインの講義とワークショップ	奈良市	(公財)奈良市生涯学習財団 若草公民館	25人
3/15(金)	木津川上流部大規模水害・土砂災害に 関する減災対策協議会(代表者会議)	Zoom	国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所	40人
3/15(金)	研修会 「男女共同参画の視点からの防災」	桜井市	桜井市男女共同参画 推進ネットワーク会議	27人
3/23(土)	三郷町防災連続講座 第3回	三郷町	三郷町社会福祉協議会	17人
3/24(日)	いずみスクエア避難所協議会避難訓練	王寺町	王寺町	200人
4/8(月)	能登半島地震の話と地震防災タイムライン	奈良市	朱雀2丁目朱雀の会	12人
4/21(日)	本部臨時理事会	三宅町	日本防災士会	1人
4/21(日)	奈良県防災士会総会 議案書発送作業	三宅町	奈良県防災士会	18人
5/11(土)	斑鳩町三地区自主防災組織連絡会 「発足決意大会及び設立総会」	斑鳩町	三地区自主防災組織連絡会	20人
5/13(月)	气象台懇談会(本年度の打合せ等)	奈良市	奈良地方气象台	14人
5/16(木)	三郷中学校 防災訓練	三郷町	三郷町教育委員会	180人
5/18(土)	総会「能登半島の現状について」	王寺町	王寺町防災士ネットワーク	37人
5/21(火)	総会研修 「災害時における民生委員・児童委員の役割」	大和高田市	大和高田市民生児童委員 協議会連合会	90人
5/26(日)	令和6年度奈良県防災士会総会	奈良市	奈良県防災士会	66人
5/26(日)	総会記念研修会	奈良市	奈良県防災士会	97人
5/26(日)	懇親会	奈良市	奈良県防災士会	44人
6/1(土)	耳成地域子ども教室 「自然災害(地震)発生時対応と避難所での行動を考える」	橿原市	耳成地域子ども教室実行委員会	45人
6/2(日)	葛城市防災士会総会&スキルアップ研修	葛城市	葛城市防災課	32人
6/8(土)	平群町連続講座①「皆で考えよう！」	平群町	平群町中央公民館	5人
6/15(土)	耳成地域子ども教室 「自然災害(地震)発生時対応と避難所での行動を考える」	橿原市	耳成地域子ども教室実行委員会	70人
6/23(日)	葛城市防災訓練「ロープワークと土嚢作り」	葛城市	葛城市東室区	32人
6/28(金)	令和6年奈良県防災総合訓練 避難所訓練医療部門打ち合わせ会議(第1回)	—	奈良県防災統括室	1人
6/29(土)	日本防災士会定例総会	東京都	日本防災士会	65人
7/1(月)	中和コンストラクション防災講演 災害に備える 「能登半島地震～支援活動から見てきたもの～」	桜井市	株式会社中和コンストラクション 災害防止協議会	80人

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
7/4(木)	都祁中学校地震対応練習	都祁村	都祁中学校区地域教育協議会	109人
7/6(土)	平群町連続講座② 「皆で安全に避難しよう！」	平群町	平群町中央公民館	6人
7/20(土)	奈良市六条校区代議員研修会 「能登半島地震と奈良における大地震への備え」	奈良市	六条校区自主防災防犯会	50人
7/21(日)	大宮地区防災訓練 「災害時のマイ・タイムラインを作ってみよう」	奈良市	大宮地区防災防犯協議会	27人
7/21(日)	斑鳩町自主防災連絡会総会 「地震に備えよう ～正しい知識と防災～」	斑鳩町	斑鳩町自主防災連絡会	60人
7/27(土)	川上村東川地区避難計画作成の説明会	川上村	川上村東川(うのがわ)地区	20人
7/29(月)	令和6年香芝市自治連合研修会	香芝市	香芝市自治連合会	40人
7/30(火)	令和6年度第一回奈良防災プラットフォーム連絡会		奈良県社会福祉協議会	21人
8/2(金)	小山株式会社防災講演会 「災害に備える～能登半島地震！支援活動から見えてきたこと～」	奈良市	小山株式会社	40人
8/3(土)	平群町連続講座③「気象と防災」	平群町	平群町中央公民館	5人
8/6(火)	夏休みお天気フェア 2024	奈良市	奈良地方気象台	102人

■令和6年能登半島地震 災害支援活動

月/日(曜)	派遣内容	派遣地	主催団体	参加人数
1/28(日)～29(月)	災害救援 先遣隊	珠洲市	奈良県防災士会	2人
2/10(土)～12(月)	災害救援ボランティア 第2陣	珠洲市	奈良県防災士会	9人
2/16(金)～19(月)	災害救援ボランティア 第3陣	珠洲市	奈良県防災士会	2人
3/2(土)～9(土)	災害救援ボランティア 第4陣	珠洲市	石川県防災士会	1人
3/15(金)～17(日)	災害救援ボランティア 第5陣	能登町	奈良県防災士会	12人
4/12(金)～19(金)	避難所運営ボランティア 第6陣	珠洲市正院小学校	石川県防災士会	1人
4/13(土)～15(月)	避難所運営ボランティア 第7陣	珠洲市正院小学校	石川県防災士会	1人
4/16(火)～25(木)	避難所運営ボランティア 第8陣	珠洲市	災害救援レスキューアシスト	1人
4/30(火)～5/2(木)	避難所運営ボランティア 第9陣	珠洲市正院公民館	石川県防災士会	1人
5/7(火)～12(日)	避難所運営ボランティア 第10陣	珠洲市	災害救援レスキューアシスト	1人
5/10(金)～13(月)	災害救援ボランティア 第11陣	珠洲市	奈良県防災士会	7人
6/14(金)～16(日)	災害救援ボランティア 第12陣	能登町	奈良県防災士会	10人
7/26(金)～29(月)	災害救援ボランティア 第13陣	能登町、珠洲市、羽咋市	奈良県防災士会	5人

■ラジオ・新聞・テレビ関連

月/日(曜)	番組名、取材テーマ	主催者又は要請団体	出演
1/9(火)	NHK取材(地震への備え)	NHK奈良放送局	末田
1/29(月)	機関誌「ふくし都祁(全戸配布)」取材	奈良市社会福祉協議会 都祁事業所都祁福祉センター	末田
2/5(月)	奈良テレビ取材(奈良市防災リーダー研修について)	奈良テレビ放送局	末田
2/17(土)	NHK 関西発ラジオ深夜便「能登半島地震と受援力」	NHK大阪放送局	末田

■奈良県安全安心まちづくりアドバイザー派遣

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
1/27(土)	「水害及び地震の防災活動について」	明日香村	八釣大字自主防災会	5人
3/3(日)	自主防災会勉強会「水害の備え」	明日香村	明日香村島庄大字自治会	21人

■総会記念研修会講演

令和6年5月26日(日) 奈良県防災士会総会記念研修会を開催した。まずは、奈良地方気象台 森永台長より「気象庁の最近の取り組み」について講義いただき、続いて奈良県防災士会理事 北村防災士より「能登半島地震！支援活動から見てきたもの」テーマで報告の2部構成の研修であった。



■災害ボランティア基礎講座②

令和6年1月13日(土) 王寺町文化福祉センターにおいて、奈良県防災士会で災害ボランティア登録をされている方向けに、昨年12月に引き続き「災害ボランティア基礎講座②」を開催しました。講座開始前に、元日に発生した能登半島地震で亡くなられた方へ全員で黙祷を捧げました。その後植村相談役より、日本防災士会と奈良県防災士会が考える能登半島への支援及び被災地の現状について講演頂きました。今も続く断水・停電・道路寸断の影響により、道路がまともに走れず、慢性的な渋滞になり、避難所まで物資が届きにくい状況にある事など、今の被災地の状況がよく理解できました。今回の基礎講座は2つの実技を用意し、八木沢防災士が床下のモデルを使った床板はがし体験の講師をし、大坂間防災士が土嚢袋のしぼり方のレクチャーと積み方講座の講師を担当しました。受講者の方は2班に分かれ交互に体験して頂きながら、ボランティアで使用する資機材の説明も併せて行いました。今回体験して頂いた事がボランティアに行った際に役に立てば幸いです。講座終了後に募金をさせて頂いた際、皆様から頂いた暖かいご支援は、現在被災地で支援活動を行っています石川県防災士会へ責任を持って送付させて頂きます。(八木沢防災士)



■令和5年度大和川流域水害対策協議会

令和6年1月31日(水) ホテルリガール春日野、飛鳥の間において、第5回大和川流域水害対策協議会(代表者会議)が開催され、奈良県防災士会からは末田理事長が参加しました。国土交通省近畿地方整備局の局長が座長となり、奈良県知事、流域25の市町村長、森林管理局森林事務所長、近畿地方環境事務所長、近畿財務局奈良財務事務所長、近畿農政局、奈良地方気象台台長と奈良県防災士会理事長で構成されています。

前回に続き、雨水貯留浸透施設整備の進捗状況と、土地利用規制の検討方針等の資料説明のあと、進捗が芳しくない市町の発表が行われました。危機感のない市町村もあるように感じますが、確実に対策は進んでいるようです。(末田政一 防災士)

■都祁中学校全校生徒対象防災学習

令和6年1月19日(金)、奈良市立都祁中学校において全生徒を対象とした防災学習が行われ、都祁地区自主防災会長でもある末田防災士が「HUG(避難所運営ゲーム)」を行いました。都祁中学校では年数回の防災学習の一環として、この時期に毎年HUG(避難所運営ゲーム)を実施してきましたが、近年はコロナ禍の影響で、密にならない「ひとりHUG」や「マイ・タイムライン」を行っていました。本年度は実に4年ぶりのHUGで、1限目2限目は三年生、3限目4限目は二年生、5限目6限目は一年生と、計3回のHUGで丸1日の講義となりましたが、大いに盛り上がりました。3年生は独自性があり避難所に対するそれぞれの考え方が見えたり、2年生は効率よく段取りを進めていったり、1年生はワイワイ楽しみながら取り組んでいたりと三者三様で、大人だけで考えるHUGとは違っていつも新しい発見があり、逆に勉強させてもらっています。都祁は面積の割に人口が少なく高齢化が顕著ですので、昼も夜も都祁にいる中学生を頼りにしています。生徒達も自分たちが役に立てることを実感してくれていて、都祁の安全のための有意義な一日となりました。(末田政一 防災士)

■三宅町総合防災訓練

令和6年2月3日(土)三宅町文化ホールにおいて、三宅町総合防災訓練が開催されました。参加者は自治会や自主防災会の役員さんなど総勢100名で、町内4ブロックに分かれて訓練は行われました。前半は、植村防災士による「能登半島地震について～被災地は今～」の現地レポートに始まり、奈良県防災士会から6名の防災士が講師を務めて、南海トラフ地震を想定した「地震時タイムライン研修」を行いました。後半は、参加者がグループ毎に4つのブースを順に回って「土嚢作り(三宅町)」「車椅子体験(三宅町社会福祉協議会)」「AED訓練(磯城郡消防署、女性消防団)」「簡易トイレ作り(奈良県防災会)」を体験していただきました。どの訓練にも参加者の皆さんはととても熱心に取り組んでおられ、大変充実した時間となりました。



〈小山防災士〉

■奈良市防災リーダー研修「災害ボランティアと災害時の受援力」

奈良市防災リーダー研修が、令和6年1月21日(日)、1月27日(土)、2月5日(月)、2月19日(月)の4日間、奈良公園バスターミナルレクチャーホールで開催され、延べ320名の方が受講されました。奈良市自主防災防犯協議会が主催する、地域防災リーダーのための講座で、今年で3回目になります。本年度の講座の内容は、奈良県防災リーダー研修や防災士養成講座に則ったカリキュラムで、土日と平日の選択制2日間受講頂くものです。奈良県防災士会からは末田防災士が「災害の備える」と「自主防災組織が行う各種訓練」を担当。植村防災士が「災害ボランティアと災害時の受援力」を担当し、同じ内容で2日間行いました。始めて受講される方も、今年で3回目の受講となる方もいらっしゃいましたが、能登半島地震のこともあり、皆さん真剣に受講されていました。奈良市は近年、幸いにして大きな災害に見舞われたことはありませんが、逆に経験が無いためリスク拡大の恐れや準備不足が懸念されています。広い奈良市の中で自主防災組織を通じて個人個人の対応力(耐久力)のアップに繋がれば嬉しいです。〈末田政一 防災士〉

■本人の会「サンメイト」研究大会「自分で自分を守ろう！～地震が起きたら～」

令和6年2月25日(日)奈良県社会福祉センター5階研修室Cで、奈良県手をつなぐ育成会主催の本人の会「サンメイト」研究大会が開催されました。対象は知的障がいのご本人さんたち16名で、保護者さんや支援者さんたち15名も参加されました。テーマは「自分で自分を守ろう！～地震が起きたら～」で、奈良県防災士会の防災士4名が講師を務めました。

前半は「地震発生の瞬間」の動画視聴や地震が起きた時に危ない場所をみんなで考え、シェイクアウトや緊急地震速報への対応を訓練しました。後半は断水が起こった時に困ることをみんなで考え、水運搬や簡易トイレの体験を行いました。ご本人さんたちからは「もしじしんがあったら今日おしえてもらったようにします。今日はべんきょうになってよかったです」や「水をてでもってほこんだときはおもかったです。かばんではこぶほうがかるかったです」や「わかりやすいです。といれのはなしをききました。いけてよかったです」や「よくわかった。またしたいです」などの感想が寄せられました。指導に当たった村山(千)防災士からも「皆様とても熱心で明るい方ばかりでした。トイレ等もいろいろな方法で試したいと、自ら積極的に実践して下さいました。質問も出ました。他人事でなく、しっかり自分事ととらえられていたことが素晴らしいです」とコメントが寄せられました。保護者さんや支援者さんからも「すごくすごく良かったです、いろいろな人にお勧めしたい！」や「この体験プログラムを各地で実施して広めてほしい」などのお言葉を頂戴し、楽しく達成感のある研究大会となりました。〈小山防災士〉



簡易トイレの体験

■介護施設スタッフの地震編タイムライン

令和6年3月10日(日)、生駒郡三郷町の介護NPO法人三郷サンサンハウスのデイサービスセンター「くるみ」において介護施設スタッフのための地震編タイムラインを実施しました。三郷町内にあるサンサンハウス系列のデイサービスセンターや小規模多機能ホーム、本部から介護士や事務職員の方など22名が参加されました。奈良県防災士会が各地で実施している地震編タイムラインの内容を「私と家族の行動/隣・近所」から「私とスタッフの行動/利用者さん」へとアレンジした内容で進行し、もし業務中に南海トラフ地震が起きたらどうしますか、という時系列の課題に取り組んでいただきました。参加者の中にはホームで介護に当たる方や、利用者さんをご自宅に車で送迎する方もおられ、施設にいるときだけでなく送迎中だったらどうするのか、また本部の事務職の方なら各施設のスタッフとの安否確認などの連絡をどうするのかなどをテーブル内で相談や意見交換もしながら考えていただきました。三郷町は南海トラフ地震が起きた場合に想定される震度は震度6強とされています。振り返りパートで映した東日本大震災の動画の内容にも驚かれて日ごろからの備えについてもどうすれば良いのかと真剣に考えておられました。利用者さんの多くは高齢者のため自力で身を守る行動を取ることや避難することが困難な方です。いざという時に自分と利用者さんの両方の命を守らなければならないということ、これまで漠然と考えていたがみんなで話し合い文字にして書き出すことで改めて大事さを実感できたとの感想が多くの方から出て、お互いにとって有意義な研修会となりました。(北村防災士)

■マイ・タイムラインの講義とワークショップ

令和6年3月12日(火)奈良市若草公民館において防災講座が実施され、奈良県防災士会から末田防災士が「マイ・タイムライン(大雨編)」の講義を行いました。近隣の方の参加が多く、旧奈良市内では避難情報が発令されることも稀なため、安全神話が定着している地域でもあることから、まずは「何のために」ということを重視して話しました。年末に全戸配布されたばかりのハザードマップも見られていない方が半数あって、避難所についても開設された話を聞いたことがないということで、「頑張らない避難とそのための準備について」をタイムラインの前に説明し、自宅が安全な方も、避難が難しい方も、それぞれの対応を考えて頂ける機会を持ちました。今回のマイ・タイムラインはワークショップ形式で記入していただく形にしたので、何を書いたらいいか難しかった方もいらっしゃいました。また能登半島地震や東日本大震災から13年目ということもあり、能登半島の現状と地震の対応も含めた盛りだくさんの内容となりましたが、参加者の方それぞれに考えて頂ける機会が持てたと思います。(末田政一防災士)

■いずみスクエア避難所協議会避難訓練

令和6年3月24日(日)王寺町防災コミュニティセンターいずみスクエアにおいて、「いずみスクエア避難所協議会避難訓練」が行われ、奈良県防災士会より11名の防災士が参加しました。当施設を避難所とする自治会(7地区)の住人約200名が参加。平井町長に開催の挨拶を頂いた後にHUGや救命救急、消火訓練などが行われる中で、奈良県防災士会は3つの講座を担当しました。事前のアンケートで希望する講座を受講できる方式となっており、防災士会の講座には44人が受講。①「能登半島地震の講話」植村相談役が1月から計5回にわたる石川県への支援経験を元に、被災地の現状について講話頂きました。②「家具転倒防止の講話」八木沢防災士がスライドによる家具倒壊の説明と、木造モデルによる突っ張り棒やチェーンでの具体的な設置方法について説明致しました。③「ロープワーク」八幡領防災士と村山防災士により、基本的なロープワークを体験して頂きました。能登半島地震が元旦に発生、災害はいつ起こるかわからない事を住人の皆様は理解されており、真剣に講座を受講されていました。今回の講座の内容を1つでも良いので実施して頂き、自分や家族を守る対策を平時よりお願い致します。(八木沢防災士)

■気象台懇談会

2024年5月13日(月)奈良地方気象台において「気象台と防災士会の懇談会」が開催され、奈良県防災士会からは理事監事7名が参加しました。奈良地方気象台と奈良県防災士会は「お天気フェア」等を通じて長年にわたって交流していますが、今年度新たに着任された気象台職員の方との顔合わせと双方の活動内容の紹介の場として懇談会が設けられました。年度始まりのタイミングでの懇談会は、奈良地方気象台と奈良県防災士会のより一層の協力体制強化に向けて、大変有意義な話し合いとなりました。(小山防災士)

■王寺町防災士ネットワーク総会

令和6年5月18日(土)王寺町やわらぎ会館3Fで、王寺町防災士ネットワーク総会が開催され、第2部講演会で奈良県防災士会 植村副理事長兼相談役に登壇頂きました。植村相談役は石川県能登半島へ本年1月の発災より毎月支援に入られており、現場を知った植村相談役の言葉は重く、テレビや新聞で知る以上のインパクトがありました。珠洲市では新聞報道によると住宅の約40%が全壊になっており復興が急がれるが、物資や人の通れる道路が崩壊。また断水が続いており、支援できる人が現地に滞在できない状態になっているのでなかなか前に進まないなど、復旧が遅れている根本にある問題に言及されていました。また、ボランティアが起こしがちな間違いとして、「自分本位」ではなく「被災者中心・被災者本位」で考える事が大切との話や、「SMILE-UP」(元ジャニーズ事務所)のメンバーが避難所を訪れた際には、みんなが普段の疲れを忘れて笑顔になったとの報告がありました。「珠洲市の避難所はスムーズに運営されていた。担当が全て決まっており、毎日会議を行っていた。これは昨年に地震があり、その時の経験があったからである。すなわち防災訓練で経験を積む事により災害時にも慌てず対処できる」と植村相談役が言われた時、みなさんは大きくうなずいておられました。「自分が無事でないと人を助ける事はできない」「頼りになるのは隣近所」と締め言葉の頂き、講演会は終了しました。

〈八木沢防災士〉

■災害時における民生児童委員の役割

去る5月21日(水)、大和高田市総合福祉会館「ゆうゆうセンター」において大和高田市民生・児童委員会総会が開催されました。総会後の記念講演では、奈良県防災士会植村副理事長が「災害時の民生児童委員の役割」と題して防災講演を行いました。ここ数年、災害発災時に民生児童委員の死傷事故が発生していることを踏まえ、「災害時における民生・児童委員に求められる役割」と題して講演を行いました。講演では、本年1月1日に発生した能登半島地震への支援活動に参加した経験談や現地でおこった事を報告するとともに、一番重要なのは自らの安全を図ることであり、日頃の活動では災害時要支援者を含めた地域の理解を得ておく事が必要であることなどが話され、参加した民生・児童委員の方々が熱心に耳を傾けられているのが印象的な一日となりました。ただ、日頃の準備の一つとして非常持出し袋について参加者へ尋ねると、案外用意されている方が少なかったことが判明しました。参加者からは、今後の取組みを進める上で、まず非常持出し袋を用意することを認識できたひと時となりました。〈植村防災士〉

■災害に備える「能登半島地震～支援活動から見てきたもの～」

去る7月1日(月)、桜井市図書館において「(株)中和コンストラクション安全大会」が開催されました。この大会には奈良県防災士会から植村信吉相談役が講師として招かれ「自然災害発生！そのとき何をすべきか」と題した講演を行いました。講演は、能登半島地震での支援活動をとおして見てきたもの、感じたことを中心に行われ、土木・建設関係者として①心がまえ②災害発生時の行動③南海トラフ地震に備えるためという流れで進められました。奈良県防災士会としては、企業からの依頼を受けての講演は珍しく、今後、県内企業との連携に向けた第一歩となりました。〈植村防災士〉

■お天気フェア2024

令和6年8月6日(火)奈良地方気象台において、奈良地方気象台、奈良県砂防・災害対策課、NHK奈良放送局、奈良県防災士会の共催ならびに気象友の会の後援による「夏休み お天気フェア2024」が行われました。炎天下の中、親子102人が来場し、天気と防災について学んでいただきました。奈良県防災士会からは6名の防災士が参加し、「地震であぶない場所はどこ？」クイズや、「新聞紙でスリッパ作り」の工作や、「ポリ袋クッキング」や「能登半島地震での支援活動」についての展示を担当しました。



奈良地方気象台の「気象実験」や、奈良県砂防・災害対策課の「土砂災害」、NHK奈良放送局の「VR体験」とバラエティに富んだ内容で、来場者の皆さんはとてもしそに見学体験をされていました。

〈小山防災士〉

2024 年防災士功労賞



日本防災士機構「2024 年防災士功労賞」受賞者表彰式が、6 月 20 日、東京主婦会館において、原邦彰消防庁長官、高橋謙司内閣府政策統括官（防災担当）の出席のもと行われました。3 団体、5 個人が表彰され、奈良県から村山中央防災士が園松孝次会長から表彰状を授与されました。（奈良県防災士会）

災害復興支援活動

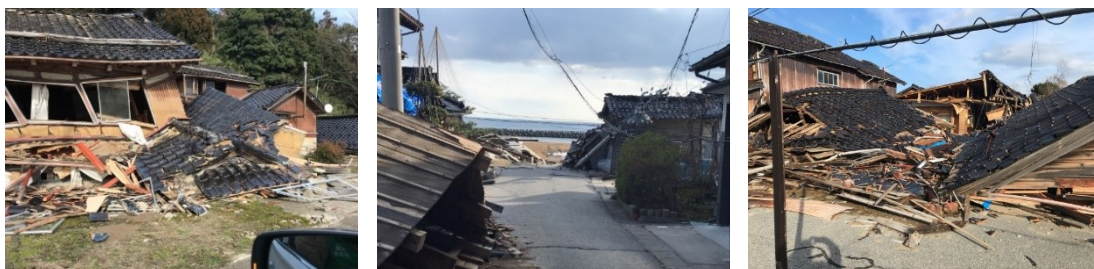
「令和 6 年能登半島地震」に対する奈良県防災士会の活動について

2024 年（令和 6 年）1 月 1 日、16 時 10 分頃、石川県能登半島北部を震源とする M7.4 の地震が発生しました。最大震度 7 を観測した地震は石川県を始め、富山県、新潟県、福井県で大きな被害をもたらしました。中でも石川県の被害は深刻で、特に奥能登地方の被害は甚大でした。

私たち奈良県防災士会は、現地の石川県支部の応援要請を受けて、1 月 28・29 日を皮切りに、2 月、3 月、4 月、5 月、6 月に災害ボランティアとして支援に入りました。

その活動の一部を皆様に紹介させて頂き、我々が感じた事を皆さんに伝えたいと思います。

最後に、防災士会の災害支援に募金や寄付で応援頂いた方々には、厚く御礼申し上げます。



写真：珠洲市正院地区（2024 年 2 月 11 日撮影）

■支援活動実績

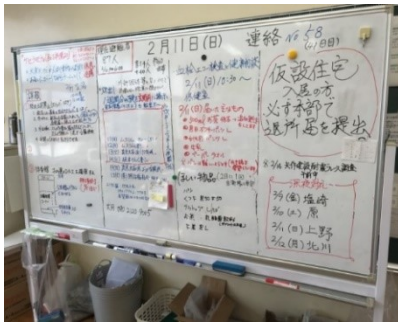
石川県支部からの応援要請（令和 6 年 1 月 18 日）を受けて、延べ人数約 50 名が被災地の支援に入りました。

第一回	1 月 28・29 日	（珠洲市）：2 名	第二回	2 月 10～12 日	（珠洲市）：7 名
第三回	2 月 16・17 日	（珠洲市）：2 名	第四回	3 月 2～9 日	（珠洲市）：1 名
第五回	3 月 15～17 日	（能登町）：12 名	第六回	4 月 12～20 日	（珠洲市）：1 名※長期派遣
第七回	4 月 13～15 日	（珠洲市）：1 名	第八回	4 月 16～25 日	（珠洲市）：1 名※長期派遣
第九回	4 月 30～5 月 2 日	（珠洲市）：1 名	第十回	5 月 7～12 日	（珠洲市）：1 名
第十一回	5 月 10～13 日	（珠洲市）：7 名	第十二回	6 月 14～16 日	（能登町）：10 名
第一三回	7 月 26～29 日	（能登町、珠洲市、羽咋市）：5 名			

●2 月 10 日～12 日 珠洲市での復興支援活動

発災直後から被災地で支援活動を続ける日本防災士会石川県支部の応援要請を受けて、第 2 陣が現地へ入りました。第 2 陣は植村副理事長以下、北村、東、大坂間、辻本、川口、矢作防災士の 7 名です。現地では、石川県支部の指示を受けて避難所での運営支援と、珠洲市災害 VC の要請を受けた被災家屋での支援活動に分かれて行動しました。避難所支援では、仮設住宅への引越し支援や避難所運営の手伝いを行い、被災家屋のかたづけでは散乱する家財道具と廃棄物の処理運搬作業となりました。11 日は、長野県支部の宇佐美事務局長と笠原防災士も行動を共にしました。この日は昼食を取っている時に、珠洲市

を震源地とする震度4の地震に見舞われ、慌てて避難行動を取らざるを得ない事態となり、未だに地震が続いている被災地での支援活動であることを実感しました。また、宿泊場所は避難所の一室を間借りしている関係で、4名が避難所の理科室で、3名は車中泊という厳しい条件での活動でした。また、避難所の目の前に仮設住宅が建設され入居が始まっていることもあり、北村、東防災士が石川県支部の依頼を受けて、中野防災士（石川県支部）や市職員の奥佐さん（理学療法士）とともに仮設住宅での訪問聞き取り調査を行いました。入居者に高齢者が多いことから様々な課題が浮き上がりました。（植村防災士）



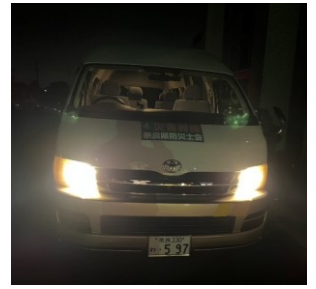
● 3月16～17日 能登半島 能登町災害ボランティア活動報告

3月15日（金）21:00に奈良を出発し、16日（土）8:00に珠洲市内正院小学校を經由して能登町災害VCに到着。受付を行い、初日は白丸地区にて津波によって破壊されたブロック塀（コンクリート屑）を災害ゴミ集積場まで運搬する活動。軽トラック3台とハンマーなどの機材を借り受け作業に従事した。この日のリーダーは杉村防災士。午前、午後と同じメンバーで撤去作業を行ったが、15:00までの災害ゴミ集積場受付時刻を超過したため、翌日へ持ち越しとなった。3月16日（日）8:30に受付を行い、白丸地区へ移動。軽トラック3台で運搬を行い、午前中の早い時間に当案件は完了。この日のリーダーは八幡領防災士。引き続き姫地区へ移動して活動。案件内容は白丸地区案件と同じ内容であった。午前の作業を終え一旦VCへ戻ると、新たな案件の依頼を受ける。その後2班に分かれての活動となった。午後からの姫地区での案件は、中嶋防災士をリーダーに6名で運搬作業を行い完了。その後松並地区の案件に合流した。残るメンバー6名は松並地区での家具の運び出し作業。その際神戸YMCA5名と合同での作業であった。リーダーは八幡領防災士が務める。15時までの災害ゴミ受付時間までに松並地区の案件が完了。VCへ戻り2日間の災害ボランティアを終了した。15:30に能登町を出発し、同日23:45に奈良へ帰着した。（八幡領防災士）



●5月11・12日 能登半島 珠洲市災害ボランティア活動報告

5月10日（金）奈良を21時に出発。ハイエース2台に分乗し、11日（土）8時に珠洲市災害VCに到着。受付を行い、初日は若山の民家へ崩れた壁材の撤去搬出運搬、絨毯と家具、布団類の搬出運搬を行う。当初軽トラック1台を借り受けていたが、7名の活動に1台では手待ちが生じるため、VCと交渉し軽トラ2台を追加。すべての搬出はできなかったが、15時となったため終了する。



今回の宿は珠洲市内の日置ハウス。災害救援レスキューアシストさまのご厚意で、8人部屋を借り受けることができた。電気、水道あり。トイレ、風呂は普通に利用した。

5月12日（日）8時に受付を行い、1件目は野々江町の漁師小屋の片付け。2トントラック1台と軽トラック3台で現地へ向かい、搬出運搬を行った。午前中の早い時間に当案件は完了。VCに戻ると新たな案件の依頼を受ける。飯田町で家具の移動と搬出運搬。これも2トントラックと軽トラ3台で活動する。2階にある衣装箆筒やキッチンのカップボードなどが作業のメインであった。VCに戻ると本日3件目の依頼を受ける。正院町では、洗濯機の搬出があったが、組み立てられてあった乾燥機を取り外しての作業であった。その他、布団やパソコン、その他諸々の家具等の搬出運搬を行う。間口が狭かったので、ペアガラスの重たい窓を外して行った。全員、怪我無を確認し2日間の災害ボランティア活動を終えた。17時に珠洲市を出発し、日付が変わって奈良へ帰着した。〈八幡領防災士〉



■支援金会計報告

●収入

会員、県民の皆様からの寄付・カンパ	410,606 円（2024/3/29 現在）
ボランティアバス自己負担金額	120,000 円
防災士機構功労金	100,000 円（村山防災士からの寄付金）

●支出

石川県防災士会への活動支援金	200,000 円
被災地支援災害ボランティア派遣	606,003 円（2024/6 月末現在）

いただいた寄付金は、災害支援ボランティア活動の際のボランティアバスのレンタル代、ガソリン代、乗合で使用した自家用車のガソリン代、また、ボランティアバスが故障した際の修繕費などに使わせていただきました。皆様のご協力に感謝いたします。

今後の活動予定

■奈良県防災士会研修会

開催未定です。

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)発表される

8月8日、宮崎県日向灘を震源とする地震(震度6弱)を受けて、気象庁は専門家らで構成される評価検討委員会を招集し、2017年11月の制度導入後初となる「巨大地震注意」を発表しました。

1週間ほどと言われる警戒の期間も、地震の起きやすさと、人が警戒をもち続けられる期間との兼ね合いで決められた経緯があります。1週間が過ぎても備えが必要であることを伝え広めて下さい。

防災士会会員の方は「過度に恐れず備え点検をする」こと、「普段より起きやすくなっていること」を伝え、注意を促して下さい。

お詫び

先日会員様宛に送付させて頂いた別紙冊子(活動報告)に誤りがありました。

6月から8月までの活動報告が抜け落ちていたことが判明しました。

主催者の方や講義に行って頂いた方、会員各位にはご迷惑をおかけして申し訳ありません。

この場をお借りして、お詫び申し上げます。

正しい活動報告は奈良県防災士会 web ページにアップしました。

<https://bousainara.com/55118/>

特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 末田政一

事務局からのお知らせ

奈良県防災士会のウェブサイトをご存知ですか? イベントのお知らせや、活動報告は、

「奈良県防災士会」で検索!

奈良県防災士会のウェブサイトでは、会員のスキルアップのため、県内で開催される防災訓練の情報をスケジュール欄に掲載しています。併せてお手伝いの募集も行っています。予約制となりますので、見学を希望される方は、事前に事務局までメールで申込をお願いします。

投稿記事募集!

奈良県防災士会会員の皆さまからの、「災害復興支援」や「防災訓練」の活動報告をお待ちしています。当会のウェブサイト、Facebook ページ、広報誌で公開可能なレポートをお寄せください。

●送り先 **mail@bousainara.com**

●テキストおよび写真(肖像権など差支えないもの)をお送りください。



奈良県防災士会の**Facebook**を公開し、さまざまな情報をアップしています。「いいね!」をよろしくお願ひします。

「Facebook 奈良県防災士会」で検索

■発行日 2024年8月10日

■発行者 特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 末田政一
〒632-0221 奈良市都祁白石町1192-190

■編集 特定非営利活動法人奈良県防災士会 広報部会

■E-mail mail@bousainara.com

■FAX 050-3488-8178

■ウェブサイト <http://bousainara.com>

■Facebook <https://www.facebook.com/bousainara>